

夢かなうまち おびひろ



帯広市図書館

市長コラム

帯広市長 米沢 則寿

帯広市図書館が、現在の場所に開館してから、10周年を迎えました。図書館建設にあたり、複数の候補地が挙げられ、活発な議論が交わされた結果、現在の場所に建設することが決まりました。

帯広の玄関口である駅南に、図書館が建設されたことで、とちまちプラザ、文化ホールなどの社会教育施設が、ここに集積しています。

また、駅南の公園大通の東側には、レンガ造りのホテル、図書館、金融機関が並んでおり、四季ごとに色合いを変える街路樹と、レンガがもつ暖かい色合いとの調和が、まさに彩りを添えています。

ガラス張りの解放的な建物と、かちプラザと、隣接する南公園の芝生があいまって、駅南の景観は、十勝らしい広々とした雰囲気の中に、文化の香りと品の良さを感じるまちなみが形成されています。

開館当初から、市民とともに歩

んできた図書館。この10年間に、皆さまからいただいた寄附金の総額は約1億円になります。開館当時、約34万冊だった蔵書は、図書館購入の予算に加えて、こうした皆さんからのご厚意により、今では約52万冊になりました。

図書館の運営においても、館内の生け花や観葉植物の管理、障害のある方に対する音訳や宅配などを行う、さまざまなボランティアに支えられています。

先日、本の修理や布の本の製作、朗読などの奉仕活動を行っている「帯広図書館友の会」の活動の場にお伺いする機会がありました。会員たちの性別や年齢などはさまざまですが、本や図書館を愛する強い気持ちで、皆さんが共通して持つており、お互いを尊重して、生きがいを感じながら活動している姿を拝見し、ボランティアのあるべき姿というものが、この図書館に根付いていると感じました。

小さな子どもから、学生、社会人、お年寄りまで、幅広い年齢の人たちが利用する図書館。図書館の静かな空気の中で、本を開けば、際限のない知の世界が、それぞれの人の中に広がります。

字がまだ読めない子どもも、絵本をめくる紙の手触りを感じながら、イラストなどからいろいろな刺激を受けています。

仕事や人生の壁にぶつかりながらも、自らを成長させて、将来に向けてチャレンジしようとする人たちが、異なる考え方や未知の世界を知り、輝く未来を創り出していくために、いろいろな刺激を受けることができる場所。皆さんと一緒に、そんな図書館に育てていきたいと思っています。

オビヒロ カメラレポ Obihiro Camera Report



おかげさまで図書館開館10周年

現在地での開館10周年記念行事の一つとして、「色からパワー!」と題したインテリア教室が図書館で行われました。食欲が増したり元気が出る色、位置関係の錯覚が起きたり、体感温度が変わる色など、人が色彩から受ける影響の事例や日常生活への活用方法を、分かりやすく紹介していました。(2月27日、上写真)

翌週は、10年以上にわたってボランティア活動で図書館を支えている皆さんへ感謝状贈呈が行われました。館内には市民とともに歩んだ図書館の軌跡を紹介する展示コーナーが設置され、館内喫茶感謝フェアや朗読会など数々の行事が行われました。(3月6日、図書館、右写真)



感謝状を贈呈された皆さん

からだスッキリ講座



「糖尿病予防」をテーマに、からだスッキリ講座が行われ、20～70代の男女30人が参加しました。保健師から、糖尿病の原因となるインスリンの働きや食事の取り方などの講話を聞いたあと、オビロビ(市が考案したエアロビクス)やステップ台などで体を動かしました。参加者からは、「じわじわ汗をかく」「すっきりした」との声が聞かれました。(2月25日、保健福祉センター)

百年記念館でさまざまな演奏者を迎えて行われているロビーコンサート。今回は帯広三条高校の現役・卒業生によるクラシックコンサートを開催しました。



第332回百年記念館ロビーコンサート

音楽の道を志す若者たちの演奏を楽しもうと、立ち見が出るほど多くの観客が訪れました。全16曲をそれぞれソロで披露。トランペットやホルンなどの生き生きとした音色と美しい歌声が館内に響き渡り、観客を魅了しました。(2月28日、百年記念館)

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

問 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp)

